

## 2024年7月 東京地区百貨店売上高概況

2024年8月23日

### I. 概況

1. 売上高総額	1,517億円余
2. 前年同月比(増減率)	8.3%(35か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭8.4%(91.1%)：非店頭7.0%(8.9%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	12社 22店 (2024年6月対比±0店) (前年同月比：±0店)
5. 総店舗面積	703,920㎡ (前年同月比：-3.5%)
6. 総従業員数	13,255人 (前年同月比：-4.3%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 9.7%、1-3月 11.7%、2-4月 13.2%、 3-5月 12.9%、4-6月 14.8%、5-7月 13.7%

[参考] 2023年7月の売上高増減率は12.2%

#### 【特徴】

7月の東京地区は、売上高(8.3%増)、入店客数(0.8%増)共に前年実績を上回った。土曜・日曜各1日減や、梅雨明け後の荒天、猛暑等のマイナス要因もあったが、高伸が続くインバウンドと高付加価値商品が売上を牽引した他、盛夏商材の需要増や各社の夏休み催事も奏功し、35か月連続のプラスとなった。2019年比でも11.4%増と3か月連続で二桁増。商品別では食料品を除く4品目で前年をクリアした。具体的なアイテムの動向は以下の通り。

**衣料品(7.0%増)**：猛暑からカットソー、ポロシャツ、サマーニット等夏物衣料が好調に推移した他、婦人服では、気温上昇で動きのあったブラウス、スカート、ワンピースも寄与。クリアランスはセール品の在庫数量減少など規模が縮小した半面、定価品が伸長。

**身のまわり品(23.5%増)**：ラグジュアリーブランドを中心にハンドバッグ、財布等が増勢を維持した他、お出かけ需要でトラベルバッグやシューズ等旅行用品も好調に推移。天候要因から晴雨兼用傘や帽子等がよく動いた他、ゲリラ豪雨対策で長傘も伸長。

**雑貨(11.4%増)**：化粧品は猛暑でスキンケアやUV関連商品が好調に推移した他、インバウンド需要も活況継続。美術・宝飾・貴金属では時計が好調。

**食料品(6.1%減)**：生鮮食品は価格高騰により苦戦し、7.2%減と4か月連続マイナス。菓子は猛暑や前年高伸(14.3%増)の反動もあり10か月ぶりマイナス。土用丑の日は堅調。中元ギフトは自家需要増加。暑さからゼリーやアイス等、涼を感じるギフトが人気。

**8月足元動向**：前年比2.3%増(8/19時点)で推移。2019年比では9.0%増。

#### 【要因】

- 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0.0日)
- 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数17店舗)
  - 増加した：8店、②変化なし：1店、③減少した：8店
- 7月歳時記(中元、クリアランス、夏休み)の売上(同上/有効回答数12店舗)
  - 増加した：3店、②変化なし：8店、③減少した：1店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2024年7月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>151,738,902</b>	<b>100.0</b>	<b>8.3</b>
紳士服・洋品	9,563,304	6.3	3.0
婦人服・洋品	22,968,607	15.1	10.4
子供服・洋品	1,685,934	1.1	-5.6
その他衣料品	1,829,600	1.2	0.6
<b>衣 料 品</b>	<b>36,047,445</b>	<b>23.8</b>	<b>7.0</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>30,760,622</b>	<b>20.3</b>	<b>23.5</b>
化粧品	13,000,017	8.6	17.0
美術・宝飾・貴金属	17,385,193	11.5	11.6
その他雑貨	4,677,230	3.1	-2.4
<b>雑 貨</b>	<b>35,062,440</b>	<b>23.1</b>	<b>11.4</b>
家 具	1,629,733	1.1	10.9
家 電	832,753	0.5	-7.7
その他家庭用品	3,216,936	2.1	11.1
<b>家 庭 用 品</b>	<b>5,679,422</b>	<b>3.7</b>	<b>7.8</b>
生 鮮 食 品	4,447,497	2.9	-7.2
菓 子	11,077,798	7.3	-3.5
惣 菜	7,108,987	4.7	-7.4
その他食料品	12,309,383	8.1	-7.3
<b>食 料 品</b>	<b>34,943,665</b>	<b>23.0</b>	<b>-6.1</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>2,709,072</b>	<b>1.8</b>	<b>-3.4</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>2,569,433</b>	<b>1.7</b>	<b>44.9</b>
<b>そ の 他</b>	<b>3,966,803</b>	<b>2.6</b>	<b>34.4</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	2,190,778 千円	-10.5
従 業 員 数	13,255 人	-4.3
店 舗 面 積	703,920 m <sup>2</sup>	-3.5

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は食料品を除く4品目でプラスとなり、身のまわり品、雑貨は二桁増となった。その他の品目は、婦人服・洋品、化粧品が35か月連続、美術・宝飾・貴金属が14か月連続でプラスとなったが、子供服・洋品が3か月ぶり、菓子が10か月ぶりにマイナスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比 (増減率)	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>8.3</b>	<b>—</b>	<b>35か月連続プラス</b>
紳士服・洋品	3.0	0.2	6か月連続プラス
婦人服・洋品	10.4	1.5	35か月連続プラス
子供服・洋品	-5.6	-0.1	3か月ぶりマイナス
その他衣料品	0.6	0.0	3か月連続プラス
<b>衣料品</b>	<b>7.0</b>	<b>1.7</b>	<b>34か月連続プラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>23.5</b>	<b>4.2</b>	<b>35か月連続プラス</b>
化粧品	17.0	1.3	35か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	11.6	1.3	14か月連続プラス*
その他雑貨	-2.4	-0.1	6か月ぶりマイナス*
<b>雑貨</b>	<b>11.4</b>	<b>2.6</b>	<b>35か月連続プラス</b>
家具	10.9	0.1	10か月連続プラス
家電	-7.7	-0.0	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	11.1	0.2	5か月連続プラス
<b>家庭用品</b>	<b>7.8</b>	<b>0.3</b>	<b>5か月連続プラス</b>
生鮮食品	-7.2	-0.2	4か月連続マイナス*
菓子	-3.5	-0.3	10か月ぶりマイナス*
惣菜	-7.4	-0.4	2か月ぶりマイナス*
その他食料品	-7.3	-0.7	4か月連続マイナス*
<b>食料品</b>	<b>-6.1</b>	<b>-1.6</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-3.4</b>	<b>-0.1</b>	<b>29か月ぶりマイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>44.9</b>	<b>0.6</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
<b>その他</b>	<b>34.4</b>	<b>0.7</b>	<b>2か月連続プラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-10.5</b>	<b>-0.2</b>	<b>5か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した

お問い合わせは、日本百貨店協会 橘・長柴 まで  
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>